

第12回 在宅医療で活躍 爪の専門家 福祉ネイリスト

Dr. 村田の
HGS!
(日帰り・外科・手術)

東北初の日帰り外科手術を始めた「むらた日帰り外科手術・wocクリニック」。入院をしない時短医療の提供と並行して、往診、在宅ケアにおいても質の高い医療に取り組んでいます。在宅患者さんや施設から特に要望の声が多いのが爪の悩みです。深爪、爪水虫、深爪、また肉まで切ってしまった箇所から入る菌などがありますが、なかでも巻き爪は痛みを伴い、カットもむずかしいものです。爪は内側に巻く性質があり、指に圧力がかからない寝たきりの生活が続くと爪がバネのように開かなくなります。そのために指の肉に食い込むように爪が巻いてきてしまい、手術が必要な場合は在宅で手術を行うこととなります。そこで、そのような爪の様々な病的疾患に向き合うのが、爪の正しい知識と技術を持つ「福祉ネイリスト」です。例えば、進行した水虫の爪は厚くなって固くなり、家庭用の爪切りでは無理な力が入って怪我につながることも。爪のカーブに沿って切るためには医療用ネイルニッパーで丁寧にカットし爪やすりで整え、凹凸の深いところは機械のグラインダーで滑らかに仕上げます。さらに家族の方にも爪の正しい切り方をレクチャーしてくれるので、正しい知識で日々のお手入れがずっと楽に。間違った対処が原因でおこるトラブルを未然に防ぐ為にも、福祉ネイリストのきめ細やかなケアへのニーズは増えていくことでしょう。

医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などで臨む在宅医療、そして外来診察。むらた日帰り外科手術・WOCクリニックは、各スペシャリストが集まったチームで様々な角度から病気を診ることで、患者さんのために最大にでき医療に取り組んでいます。

12回に渡り“Dr. 村田の HGS!”をお読みいただきまして、読者のみなさま1年間ありがとうございました。



ネイリストとして活動してきた小磯麻有さん。9年の経験から胸にわき上がってきたのは「オシャレのためのネイルと同じように、さらにこれからは爪のトラブルで困ってる人を改善してあげたい」という思いでした。習得したプロ認定の福祉ネイリストの知識で「患者さんの役に立てることが、心からうれしい」と話す小磯さんの笑顔と、「家族のみなさんに正しい知識を正しく伝えてほしい」と期待を込める村田先生



外来診察と在宅医療の両輪で、患者さんの“今”に必要な医療で応える村田先生。「良性の小さなものだからこそ再発させないように」と、そけいヘルニア、下肢静脈瘤、皮膚のイボ、痔、ほくろ、脂肪腫、粉瘤、乳腺良性腫瘍等の多くの日帰り外科手術を土日、祝日も行っている。「話をおだやかに聴いてくれる、優しいドクターに出会えてよかった」と患者さんからの声が多い